

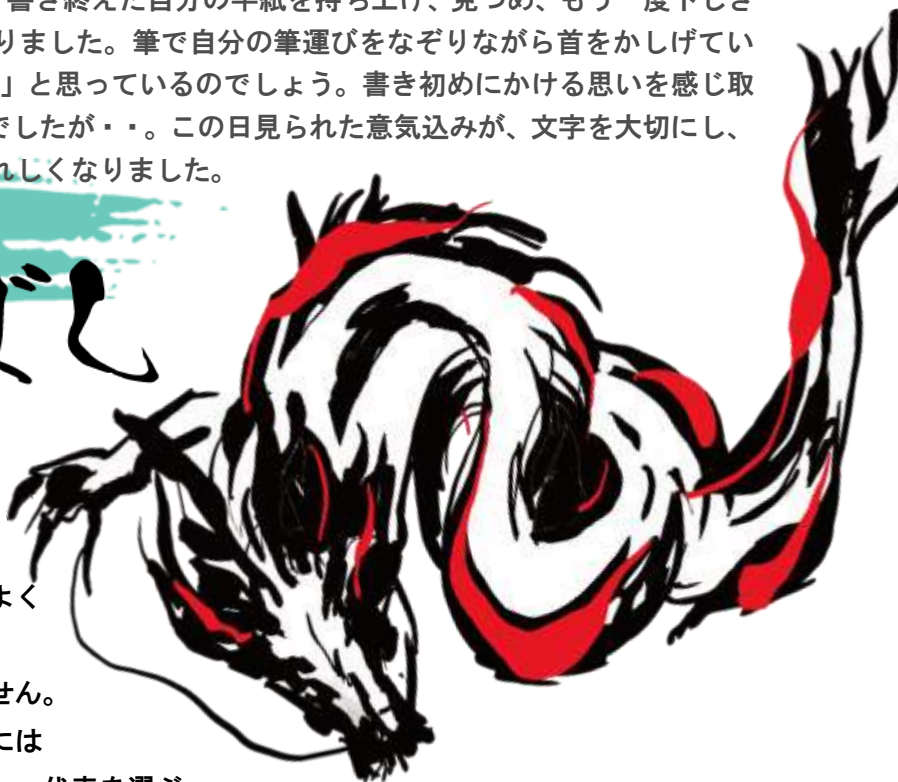
「書き初めにかける思い」

スマートフォンやパソコンが普及し、手書きの文字の良さをじっくり味わう機会が少なくなってきました。そんな中、1月に書き初め会が開かれました。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆です。邪魔にならないように気をつけながら、練習の時から各教室、体育館を訪ねてみました。いつもは教科書を音読したり、話し合ったりする声が響きわたるにぎやかな教室が、静まりかえっています。子どもたちが集中して取り組んでいるのがわかりました。休み中、一生懸命に練習してきたのでしょう。練習の成果を精一杯出そうとする姿が素晴らしかったです。

1、2年生の硬筆作品の中には、「なんでこんなに上手なの。まるでお手本そのもの」と思うような作品がありました。5年生の書き初め会では、書き終えた自分の半紙を持ち上げ、見つめ、もう一度下じきに下ろし、お手本をよく見ている子供がおりました。筆で自分の筆運びをなぞりながら首をかしげている子もおりました。「これでは満足できない」と思っているのでしょうか。書き初めにかける思いを感じ取ることができました。なかなかの出来栄でしたが・・・この日見られた意気込みが、文字を大切に、心の美しさにつながっていくのだと思いうれしくなりました。

やなぎばし

令和6年 2月号



「児童会計画委員選挙」

『学校は、先生達大人が頑張るだけではよくありません。全校みんなの希望や意見を受け止めて、いかしていかなければなりません。それが「児童会」の役割です』児童会選挙には

2つの役割があります。一つは誰かに投票し、代表を選ぶということです。もう一つは選挙の投票のルールやマナー等を学ぶ大切な機会だということです。

児童会選挙では、来年度の計画委員を決めるために、それぞれの候補者が自分の公約を訴えました。どの候補者も精一杯に伝えておりました。

1月15日から19日の5日間の選挙運動を終え、24日(水)に児童会新役員を決める演説会と投票が行われました。業間休み、昼休みのクラス訪問では、立候補者のみなさんが、「柳橋小学校が今よりもっともっと楽しく、みんなが過ごしやすくなるためにはどうすればいいのか」ということを考え、真剣に述べていました。応援者のみなさんも候補者がどんな人で、どんなふう頑張ってくれるか、いかに計画委員としてふさわしい人物かということ伝えていました。演説会では、具体的な取り組み方法も交え、立派に演説することができました。候補者や応援者の演説からは、これまでの努力の跡、真剣さがうかがえました。子供達みんな、思いを感じ大切な一票だと思ったことでしょう。立候補者の前向きな姿勢を通して、子供達が多くを学ぶ機会となりました。また、結果に限らず、どの候補者も来年度の児童会を担う立派な子供達です。今後の活躍をおおいに期待したいと思います。

立候補者のために精一杯取り組んだ選挙実行委員のみなさん、選挙の運営に関わった選挙実行委員のみなさん、ありがとうございました。

校長 古山雅世

